

令和4年度「京丹後市いじめ調査(2回目)」結果について

1 実施状況

- (1) 未実施 6名
【内訳】小4:1名、小5:2名、小6:2名、中3:1名
- (2) 家庭訪問での調査 16名
【内訳】小4:1名、小6:1名、中1:5名、中2:5名、中3:4名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2343	1285
調査児童生徒数(人)	2338	1284
内家庭訪問での調査(人)	2	14
未調査児童生徒数(人)	5	1
実施率	99.8	99.9

2 認知と解消について

(1) 認知件数と内訳

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	47	26	38	32	14	21	178	5	3	4	12		
	女子	34	34	23	28	12	6	137	2	6	0	8		
	合計	81	60	61	60	26	27	315	7	9	4	20	7,815	727
未 解 消	A要指導	13	5	13	5	3	2	41	1	1	0	2	1,360	108
	B要支援	4	10	5	7	5	1	32	1	1	0	2	1,178	103
	C見守り	64	45	42	48	18	24	241	5	7	4	16	5,130	484
解消	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	147	32

A:行為止んでおらず被害者の苦痛あり B:行為止んでいるが苦痛あり C:行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市いじめ調査2回目では、全ての小中学校でいじめを認知している。

イ 認知件数は小学校315件(1回目調査 -29件)中学校20件(1回目調査 -15件)

ウ 要指導・要支援件数の比較

	小学校				中学校			
	R3 1回目	R3 2回目	R4 1回目	R4 2回目	R3 1回目	R3 2回目	R4 1回目	R4 2回目
認知件数	372件	316件	344件	315件	28件	20件	35件	20件
要指導	16件 (4.3%)	15件 (4.8%)	52件 (15.1%)	41件 (13%)	0	2件 (10%)	2件 (5.7%)	2件 (10%)
要支援	37件 (9.9%)	32件 (10.1%)	62件 (18.0%)	32件 (10.2%)	1件 (3.6%)	1件 (5%)	4件 (11.4%)	2件 (10%)

(2) 認知率

	回	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	府小学校	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	府中学校
2年度	1	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	14.9%	13.5%	3.9%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%
	2	31.8%	16.9%	11.5%	16.8%	6.8%	5.3%	14.5%	14.4%	2.3%	3.4%	0.6%	2.1%	2.6%
	3	20.7%	13.1%	9.2%	12.2%	4.4%	4.2%	10.4%		1.4%	1.1%	0.4%	1.0%	
3年度	1	18.0%	24.5%	22.4%	10.4%	14.5%	6.1%	15.9%	15.7%	3.4%	2.1%	0.9%	2.1%	3.2%
	2	17.0%	20.0%	18.2%	8.3%	11.8%	5.8%	13.5%	14.3%	1.6%	2.3%	0.7%	1.5%	2.7%
	3	15.9%	16.7%	14.1%	4.7%	7.4%	3.4%	10.4%		1.8%	1.4%	0.9%	1.4%	
4年度	1	18.5%	15.9%	21.6%	16.9%	5.7%	9.5%	14.8%	15.5%	3.9%	3.2%	1.1%	2.7%	3.2%
	2	20.3%	15.2%	15.7%	15.0%	6.7%	7.3%	13.5%	13.8%	1.7%	2.0%	0.9%	1.6%	2.5%

ア 小1、小5以外の学年が、1回目調査より認知率が下がっている。

イ 小中学校とも、府の2回目調査の認知率と比較し低い認知率となっている。

ウ 認知率は3年間で大きな変化はない。

(3)1 回目の追跡調査結果について

4年度1回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	合計
認知件数	74	63	83	67	22	35	344	16	14	5	35

【追跡調査の結果】

解消件数	63	59	74	65	21	34	316	13	14	5	32	
(解消率)	85%	94%	89%	97%	95%	97%	92%	81%	100%	100%	91%	
未 解 消	A 要指導	10	2	0	0	0	1	13	1	0	0	1
	B 要支援	0	1	7	0	0	0	8	0	0	0	0
	C 見守り	1	1	2	2	1	0	7	2	0	0	2

ア 1回目調査で認知したいじめについては、小学校で約92%、中学校で91%が解消している。

イ 「A要指導」:小学校が13件(R3同調査22件)、中学校1件(R3同調査2件)

いったん指導により止んだ行為が3か月以内に再度繰り返されている。

※特別な支援を要する児童による行為が多い。

ウ 「B要支援」:小学校8件(R3同調査1件)、中学校0件(R3同調査0件)

エ 「C見守り」:小学校7件(R3同調査12件)、中学校2件(R3同調査4件)

オ すべての事象について、児童生徒の状況に応じた指導と、児童生徒の気持ちが納得するまで、支援・見守りを継続することが重要と考えている。

3 態様の状況について

いじめの態様(複数回答)	小学校						中学校				
	京丹後市				京都府		京丹後市				京都府
	1回目		2回目		2回目		1回目		2回目		2回目
	人数	割合	人数	割合	割合	人数	割合	人数	割合	割合	
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	187	44.6%	193	45.2%	40.0%	19	44.2%	13	56.5%	49.1%	
仲間はずれ、集団による無視をされる。	47	11.2%	51	11.9%	12.1%	3	7.0%	1	4.3%	9.9%	
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	95	22.7%	62	14.5%	18.1%	7	16.3%	4	17.4%	14.8%	
ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	46	11.0%	56	13.1%	9.4%	5	11.6%	3	13.0%	5.7%	
金品をたかられる。	4	1.0%	4	0.9%	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0.8%	
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	9	2.1%	20	4.7%	3.9%	1	2.3%	0	0.0%	3.2%	
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	30	7.2%	31	7.3%	8.7%	1	2.3%	0	0.0%	7.1%	
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	0	0.0%	2	0.5%	1.9%	6	14.0%	2	8.7%	5.0%	
その他	1	0.2%	8	1.9%	4.3%	1	2.3%	0	0.0%	4.3%	
合計	419		427			43		23			

ア 総態様件数:小学校427件(1回目調査比+8件)、中学校23件(1回目調査比-20件)

イ 小中学校とも「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様が最も多い。

ウ 小中学校ともに、「ひどくぶつられたり、叩かれたりする」の態様の割合が京都府より高い。

エ 「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の内容については、小学校ではオンラインゲーム内のトラブル中学校はSNS内での誹謗中傷等があげられている。

オ 「その他」の内容は、「注意しても聞いてくれない」「給食を静かに食べたいのに騒がしい」「マスクをせずにしゃべっている人がいて嫌」など直接何かされたわけではないが嫌な気持ちを持っているという事例も多かった。

4 いじめの「重大事態」について

2回目調査、および本日まで「重大事態」の認知及び発生はない。